



さくらはうす&ひまわりはうす

●新人職員を迎えて



毎年4月に看護師と生活支援員合同で「緊急時対応」の学習会を行います。医療機関ではない生活介護施設で出来る事は限られていますが、適切な処置を行い、早期に医療機関に繋ぐことを目標に行います。



消防署から人形、AEDをお借りして、職員一人一人が胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの操作を体験します。
利用者一人一人の個性や障害の種類によって、対応は様々ですが基本的な一時救命の手順をこの時期に確認し、万が一の時に備えます。
普段は元気な方が通われる生活介護ですが、万が一の時に適切な処置が出来るよう確認し、気を引き締めて1年をスタートさせます。



今年度 新規採用・異動職員は、生活支援員3名と看護師2名の新しい顔ぶれを迎えてのスタートです。

いろいろな障害特性を持った利用者さんに出会い、人と接することの考え方も変わりました。長い目で見て利用者さんが家族と幸せに暮らしていけるようなお手伝いがしたいと前よりも実感を持って思います。



最初は援助を行いたいと思っても、利用者さんが受け入れてくれない事もあって、支援を行う難しさや人間関係を築いていく事が大切であると痛感しました。この2ヶ月の中で少しずつですが、援助させてもらえることが増えてきて嬉しいです。生活介護や活動を通じて、利用者さんの思いや意志を理解していけるように関わって行きたいです。

